

JMRC 中部ジムカーナコストコントロールタイヤクラス

JMRC 中部ジムカーナ部会は昨今の情勢から安価なタイヤでも競技会に参加できるコストコントロールされたタイヤのクラスを設定する。

1. 対象は JMRC 中部 東海シリーズ・北陸シリーズとする。

2. クラス区分

CPN1 クラス

2輪駆動でコストコントロールタイヤの PN 車両

CRB1 クラス

2輪駆動でコストコントロールタイヤの RB 車両

3. タイヤコスト

- ① 部会が定めるタイヤの1本単価が基準コストより安いタイヤでなければならない。
- ② タイヤは競技会当日 web で閲覧できるネットショッピングなどの広く販売されているサイトで価格を確認できること。
- ③ 販売が終了したタイヤについては1年間の猶予期間を設ける。その場合領収書などの提示をしなければならない。また自身だけの特別単価であってはならない。
- ④ 溝の深さは新品時、一番深いところで4.5ミリ以上あること。
- ⑤ 見た目がスリックタイヤまたはSタイヤのように溝が少ないタイヤは禁止する。シーランド比は25パーセント以上とする。(判断はジムカーナ部会に委ねる)
- ⑥ 基準コスト(1本の税抜き価格)

15インチ以下	1.5万円
16インチ	1.8万円
17インチ	2.2万円
18インチ	2.6万円
19インチ以上	3.0万円
- ⑦ 基準コストは予告なく変更される場合がある。
- ⑧ 使用できるタイヤ例
TOYO (R1R) SHIBATIRE ZESTINO NANKANG ATR KENDA
GOODRIDE FEDERAL TRI-ACE SAILUN GT RADIAL RYDANZ
Zeknova VALINO INTERSTATE NEXEN KUMHO Hankook NITTO
- ⑨ トレッドウェアについては特に設けないが、あまりにも激しく減るタイヤが確認された場合は、シーズン途中でも規則変更することがある。